

## 2017年度 日本インターンシップ学会東日本支部 第3回研究会プログラム

### ◆ 概要 ◆

日 時： 2018年3月3日（土）13:00～17:10（予定）

会 場： ものづくり大学 本部3階 A3010大講義室  
（〒361-0038 埼玉県行田市前谷333番地）

参加費： 500円（会員）、1,000円（非会員）

### ◆ スケジュール ◆

12:30 受付開始

13:00-13:05 支部長ご挨拶：古閑博美（嘉悦大学、東日本支部支部長）

13:05-13:10 開催校からのご挨拶：平岡尚文（ものづくり大学 就職・インターンシップ担当）

13:05-13:45 基調講演

テーマ：「インターンシップから学び、インターンシップを通じて教えること（仮題）」

伊藤嘉男（有限会社 伊藤建設・ものづくり大学第1期卒業生）  
（プロフィール）

埼玉県行田市に会社を置き、埼玉県及び行田市を中心とした公共土木工事を行っている。  
ものづくり大学の1期生であり、近年はPBL型インターンシップを実施している。

13:45-14:15 提案発表

テーマ：「インターンシップ受入企業の開拓と継続に関する提案（仮題）」

宮本伸子（ものづくり大学 教務・情報課長）

14:15-14:30 休憩

14:30-16:00 車座討論会

テーマ：「インターンシップの持続的発展について～受入企業の視点を踏まえて～」

インターンシップの重要性は叫ばれながらも、地方においては、インターンシップを実施したいと考えても、受け入れ先企業が見つかりにくいのが現状である。このような中、ものづくり大学では、インターンシップを受けた卒業生が就職先で本学のインターンシップ学生の指導に当たったり、親の会社であらためて受け入れてくれる事例が存在している。このように卒業生が積極的に協力することにより、インターンシップ制度が継続している。このように社会全体で人育てをしていく仕組みの在り方について、是非、そのあり方と効果と課題について報告および会場の参加者と意見交換を行いたい。

1. インターンシップ受入れ企業は、何に期待しているか
2. 受入れ企業は、どこに抵抗感があるか
3. インターンシップ企業のメリットと学生のメリットは一致するか
4. インターンシップ企業に就職することはインターンシップの成功と言えるか
5. その他

パネリスト：伊藤 嘉男（有限会社 伊藤建設・ものづくり大学第1期卒業生）

宮本 伸子（ものづくり大学 教務・情報課長）

司会進行：薬師丸 正二郎（立教大学）

